

探訪 都の企業

おくりびと編

秋。以前、請け負った引越しの中に、遺品の形見分けに伴う家具

使込まれたコンロや冷蔵庫、仏壇…。ここの世にはない。遺品整理サービス業者「キーパーズ」東京支店(大田区)の倉庫には、供養や処分を待つ、さまざまな家財道具がひっそりと置かれている。もともと運送会社を営んでいた吉田太一社長(本誌)がキーパーズ(本社)愛知県刈谷市)として事業を開始したのは二〇〇二年

依頼を受け遺品を整理する担当者—神奈川県内で



キーパーズ(大田区大森本町)

は難しい」といい、東京支店への依頼が全体の半数を占める。作業は遺品の梱包や室内の清掃のほか、写真や人形といった故人の思い出の強い品の供養にも及ぶ。「これは残していた方がいいですよ」と遺族に形見にす

最期の引越しサポート

の移送があり、荷物の程度になる。思い出を振り返りながら、家族が仕事の合間に片付けがきっかけになった。遺族から寄せられる依頼のほとんどは、故人が一人暮らしだったケースだ。平均的な遺品の量は2Kほどの住まいなら二ツ車一台分の場合、近所付き合もあるので手伝ってくれる人もいるが、都会で「途方に暮れていたの、吉田社長は「地方のな料金。利用者からは「そこまですてもらえ」と思わなかった」という。事業を始めたころは、「やばい」と手伝いした。遺品整理は遺族がし

大切な人へおくる言葉

亡くなった祖母をはじめ、先祖に対し、今ここに私が存在していることを感謝したい。ただ、何かを語りかけたり、守ってほしいと頼んだりすることはしない。人はみな死に同じ道をたどるのだから。ただ、しっかり仕事をしているか(亡くなった人に見られている)と思っており、お盆を自分がちゃんと生きているか見直すきっかけにしている。(吉田社長)

最近では死後を不安に感じ、問い合わせてくる生前相談も多い。吉田社長は「本来は遺族がやるのが理想。本当に必要な人だけが

きょうの紙面

総合・暮らし 3・10

足りない特養 高齢者の住は

- 経済 8
- 100年企業は堅実、柔軟
- 芸能ワイド 15
- 「TVのおわび作法」考
- 運動 19
- 菊池どうにか初戦突破
- 社会 27
- 航空事故戒める明かり



日航機事故から24年。520本のろうそくに遺族らが祈る。

- 特報 24・25
- 裁判員裁判の問題検証
- T発 28
- 空襲でミンミン全滅?

社説	5	暮らし	1011
囲碁・将棋	5	運動	1819
国際	7	ゆめぼけ	21
経済	819	地域	2223
証券	9101112	小説	28

テレビ・ラジオ 13-16

政府広報

考えてみませんか 北方領土のこと

我が国固有の領土である北方

この連載は、経済部・木村留美が担当しました

「おわり」 使用はいい」と謙虚に語り、あくまでもサポートビジネスであることを強調する。だが、高齢者世帯が増える中、最期の引越しへの依頼は確実に増えており、同社をモデルにした映画化の話も進行中という。